

第3章 本町が目指す教育の基本理念と教育目標

1 基本理念

本町は、北海道十勝地方の北部、日本一広い国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置し、町内の約76%を山林が占める自然豊かな町です。産業は、大自然の恩恵を受けた畑作、酪農などの農業や林業などの第一次産業が中心です。また、ぬかびら源泉郷や幌加温泉、日本一広い公共育成牧場のナイタイ高原牧場、北海道遺産旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群などの観光業も盛んです。

こうした素晴らしい豊かな自然に恵まれた環境は、暮らしやすさにもつながり、このまちの様々な魅力を先人たちから引き継いできました。中でも、子育て・教育については、子どもたちの未来を応援する環境づくりを進めています。一方、本町の教育を取り巻く環境は、ICT化や価値観の多様化等、時代の中で大きく変化しており、教育の現場も様々な課題を抱えるようになっていきます。

そこで、すべての町民が、町民憲章を理念とした中で、本町の教育目標を柱に、このような社会環境の変化に適切に対応し、学びに向かう力を持ち、豊かな人間性、健やかな体を備えた主体的に考え行動できる人づくりを進めます。

また、子どもから大人まで、生涯を通じて生きがいを持ちながら豊かな人生を送ることができる「人生100年時代における生涯活躍社会の実現」を目指し、地域や国際社会に貢献できる仕組みづくりを進めます。

【上士幌町教育目標】

上士幌の大地をしっかりとふみしめ、きびしい自然に耐え、豊かな明日の郷土をつくる人

●学校教育目標

健康で明るく、知性に富み、自主的で郷土を愛するたくましい子

●社会教育目標

豊かな心情と健康な体を持ち、自らを高め、住みよい郷土をつくりだす人

2 上士幌町子ども教育ビジョン

平成26年、おおむね10年後を見据えた教育環境の整備や子ども像を描き

【基本理念1】 幼児から高校生まで一貫性のある教育環境を整備

【基本理念2】 地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みづくりを構築

- 1 確かな学力と応用力を身に付け、夢に向かって人生を歩むことができる子
- 2 郷土の歴史を学び、伝統・文化を大切にし、郷土を誇れる子
- 3 厳しい環境に負けない、たくましい心と体を持つ子
- 4 豊かな発想力を持ち、自分の考えを表現できる子
- 5 互いの個性を認め尊重し合い、思いやりと感謝の気持ちを大切にできる子

3 目標の考え方

本計画の基本理念や「上士幌町子ども教育ビジョン」を踏まえて、今後5年間（令和4年度～令和8年度）をとおして実施する施策の方向性や展開を示すものとして、「子育て・教育の充実」を柱に5つの目標を定めます。